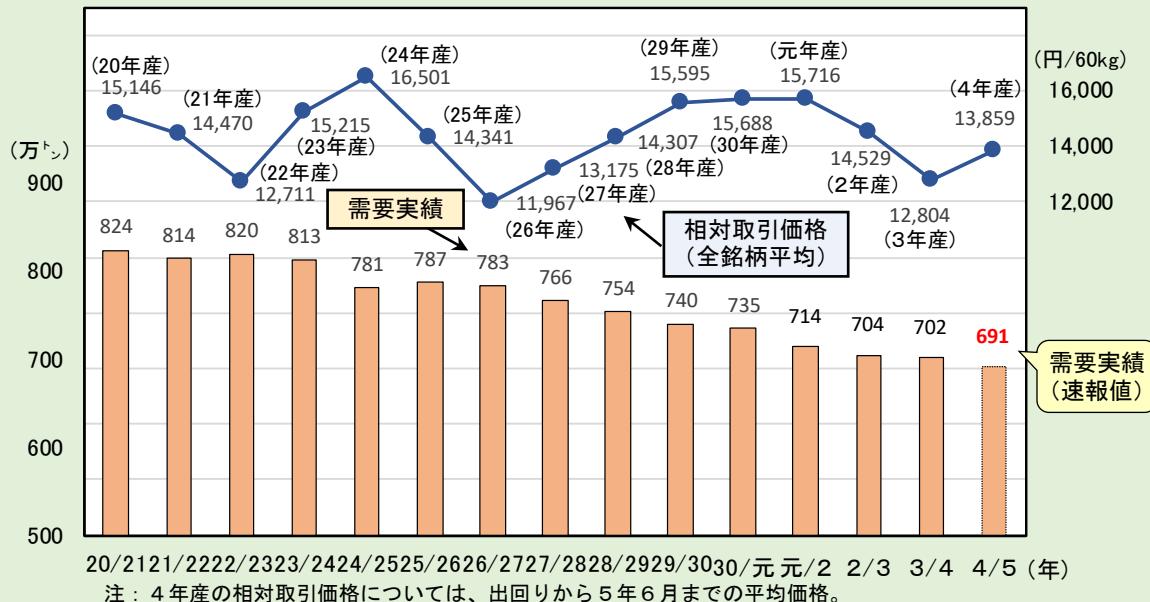


米の基本指針（案）のポイント

最近の需要動向

【最近における米の需要と価格の動向】



【4/5年の需要動向】

- 4/5年の需要実績は、前年（702万トン）から約10万トン減少し、691万トン（速報値）となった。
- 令和5年6月末民間在庫量は、前年から約21万トン減少し、197万トン（速報値）となった。

＜民間流通における6月末在庫量の推移＞

(単位: 万トン)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年 (速報値)
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200	218	218	197

今後の見通し等

【前回(3月1日)】

- 4/5年及び5/6年の主食用米等の需給見通し

(単位: 万トン)

令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

令和4/5年	令和4年6月末民間在庫量	A	218	→	209	《9》
	令和4年産主食用米等生産量	B	670			
	令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888	→	879	《9》
	令和4/5年主食用米等需要量	D	691 ~ 697			
	令和5年6月末民間在庫量	E=C-D	191 ~ 197	→	182~188	《9》

令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	E	191 ~ 197			
	令和5年産主食用米等生産量	F	669			
	令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	860 ~ 866			
	令和5/6年主食用米等需要量	H	680			
	令和6年6月末民間在庫量	I=G-H	180 ~ 186			

注1：主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）の販売動向等によって、今後、変動する可能性がある。

注2：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、《 》書きは特別枠に係る取組数量。

注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

【今回(7月31日)】

- 4/5年の主食用米等の需給実績(速報値)及び5/6年の主食用米等の需給見通し

(単位: 万トン)

令和2年産米のコロナ影響緩和特別対策（特別枠）を除いた場合の見通し

令和4/5年	令和4年6月末民間在庫量	A	218	→	209	《9》
	令和4年産主食用米等生産量	B	670			
	令和4/5年主食用米等供給量計	C=A+B	888	→	879	《9》
	令和4/5年主食用米等需要量	D	691			
	令和5年6月末民間在庫量	E=C-D	197	→	194	《3》

令和5/6年	令和5年6月末民間在庫量	E	197	→	194	《3》
	令和5年産主食用米等生産量	F	669			
	令和5/6年主食用米等供給量計	G=E+F	866	→	863	《3》
	令和5/6年主食用米等需要量	H	681			
	令和6年6月末民間在庫量	I=G-H	184	→	181	《3》

注1：令和5/6年主食用米等需要量は、過去のデータを用いてトレンドで算出した令和5/6年の1人当たり消費量（推計値）に、令和5年の人口（推計値）を乗じて算出した値であり、今後の価格動向等によっては、変動する可能性がある。

注2：欄外の記載は、コロナ影響緩和特別対策（特別枠）に取り組む令和2年産米を除いた場合の見通しであり、《 》書きは特別枠に係る取組数量。

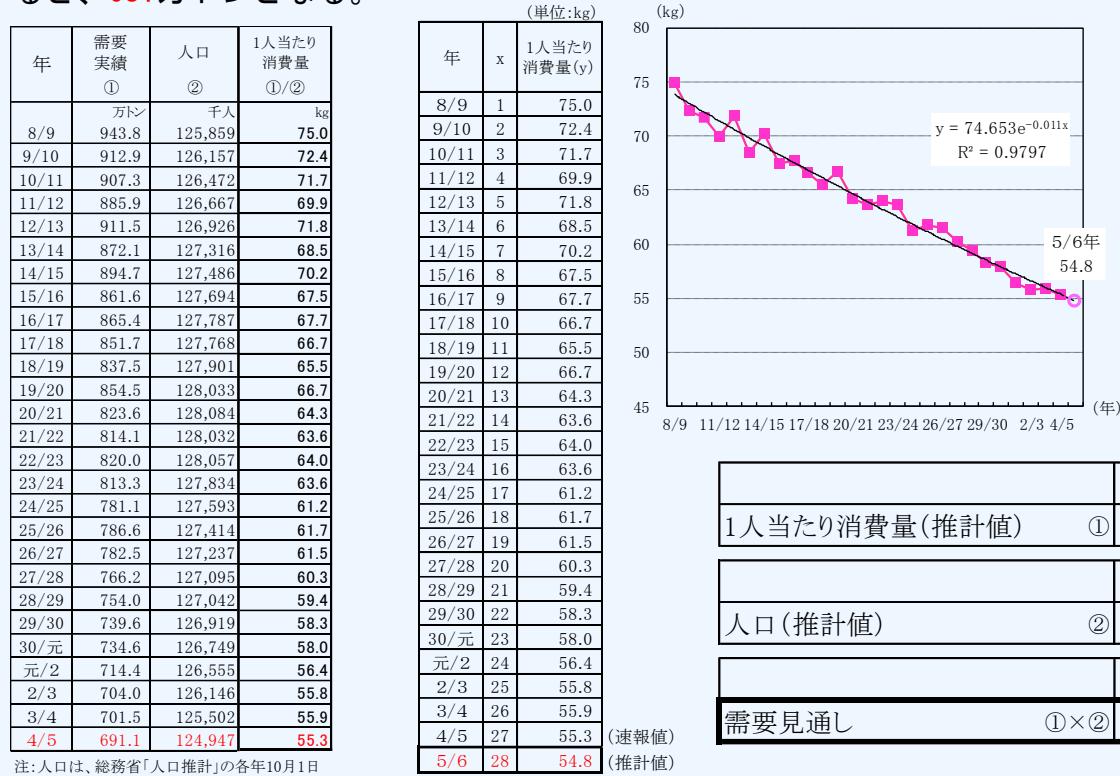
注3：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

米の基本指針（案）のポイント

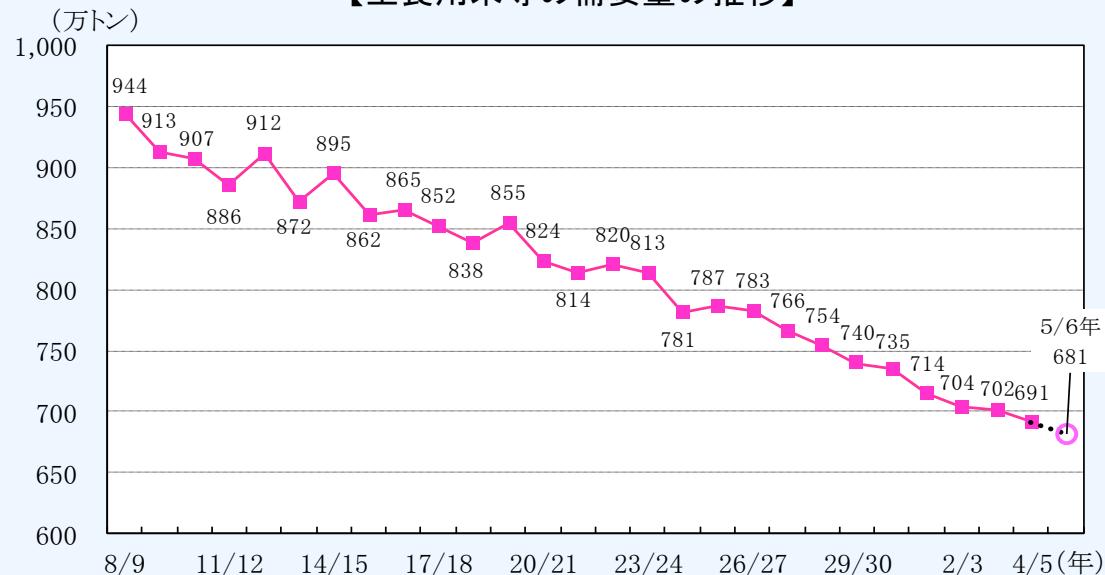
主食用米等の需要見通し

【5/6年の主食用米等の需要見通し】

- 直近の4/5年の需要実績を用いて、5/6年の需要見通しを、30年11月の基本指針において採用した手法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出すると、**681万トン**となる。



【主食用米等の需要量の推移】



備蓄運営

【5/6年の備蓄運営】

(単位:万トン)

令和5年6月末備蓄量	A	91
令和5年産米買入契約数量	B	20
令和5/6年非主食用販売量	C	12~20
令和6年6月末備蓄量	D=A+B-C	91~99

【豪州に対する国別枠の輸入量に相当する量の買入れ】

【前回(3月1日)】

今後、実際に豪州から輸入される数量に見合った規模の買入れとなるよう対応していく考えのもと、制度の詳細について検討を行う。

【今回(7月31日)】

当該買入れは、その前年の1月から12月までに豪州から実際に輸入した数量に相当する量の当年産米に係る事前契約により行うものとする。

<参考>

【これまでの豪州枠及び豪州産米の輸入実績】

(単位:実トン)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
枠数量	2,000	6,000	6,000	6,240	6,480
輸入数量	1,120	3,459	595	620	520

注：協定が平成30年12月に発効したため、平成30年度は6,000実トンを年度の残余の月数で按分した数量。